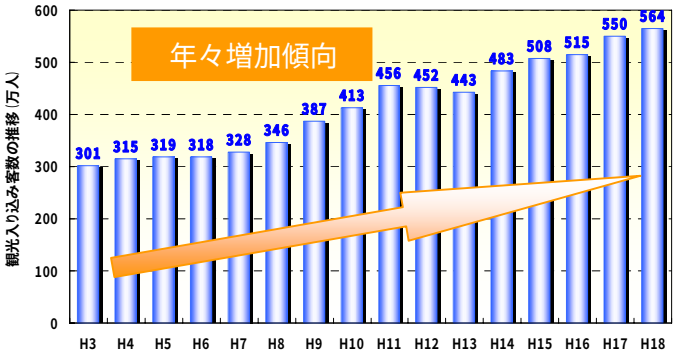
観光　魅力のある観光と豊かな自然環境を創造します

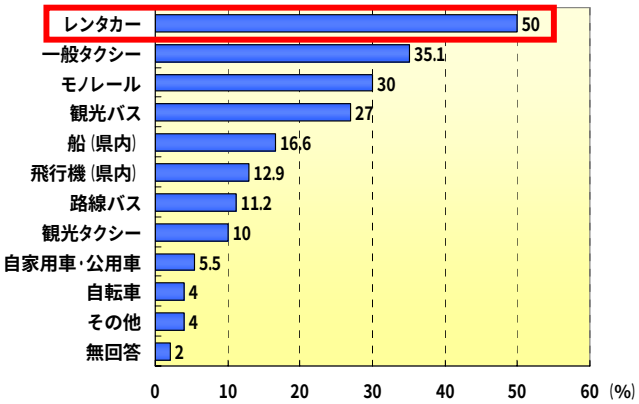
～沖縄特有の豊かな自然環境の保全・創出～

現状と課題

沖縄への観光入り込み客数は年々増加傾向にあり、平成３年当時と比べると約１.９倍に増加しました。そのうちの約半数がレンタカーを利用しています。



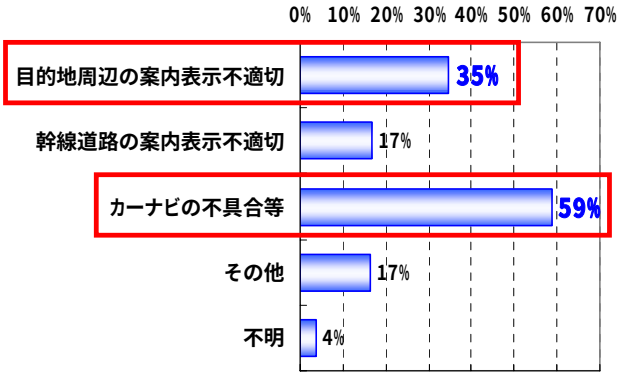
【観光入り込み客数の推移】



【観光客利用交通手段】

出典：「平成18年度観光統計実態調査報告書」沖縄県

レンタカー利用者の約半数は「道に迷った」ことがあり、「カーナビの不具合」や「案内標識の不適切」を指摘しています。



【道に迷った原因の指摘率】

那覇空港と高規格道路の連結や観光地までのアクセス性・周遊性に資するネットワークの整備・沖縄らしい景観の構築が必要です。

【拠点・主要観光施設位置と道路ネットワーク】

課題への取り組み方針

計画

・観光地までのアクセス性向上と沖縄へはじめて来訪する観光客にもわかりやすい道路案内の構築

観光地までのアクセス性・周遊性の向上を図ります

●那覇空港と高規格道路の連結を推進するなど、主要な観光地と交通拠点までのアクセス性・連結性の向上を図ります。

●観光周遊ネットワークの構築が必要であり、観光地までのアクセス道路を構築します。

【那覇空港と那覇空港自動車道との連結】

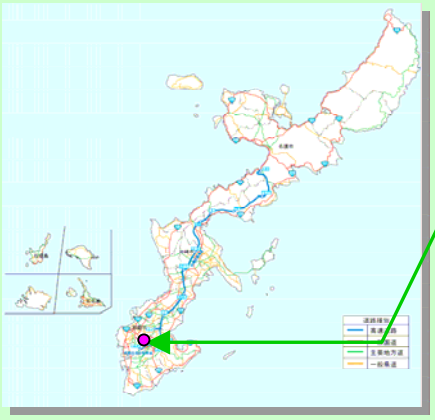
【主要観光地までの強化が必要な区間】

観光客への効率的な道路案内の構築

●道路案内標識、カーナビをわかりやすくし、みなさんや観光客への安全で円滑な移動を支援します。

●初めて訪れる観光客にもわかりやすい道路案内構築を目指します。

⇒交通量、車線数が多く、予告案内標識が設置されている交差点を対象に、予告案内標識への試行的な交差点名表示を実施するとともに、低コスト標識の設置を進めます。



【位置図】

交差点名がわからず、交差点を通り過ぎてしまうことがある

【標識の交差点名表示前後】

平成１８年度の取り組み事例

取り組み

・観光地までのアクセス性を向上させる事業の実施
・沖縄らしい景観とビューポイントを構築

【平成１８年度に実施した主な事業・施策】

No.	事業・施策の名称	対策前	対策内容	完了年月	整備事例
1	国道449号名護バイパス	事業中	未整備区間の4車線拡幅整備	H19年度供用予定	
2	国道449号本部南道路	事業中	未整備区間の4車線拡幅整備	H21年度供用予定	
3	恩納バイパス	事業中	バイパスの整備	H22年 全線暫定供用予定	
4	恩納南バイパス	事業中	バイパスの整備	H21年 部分暫定供用予定	
5	恩納村レンタサイクル社会実験	夏季観光シーズンを中心に渋滞が発生	恩納村にてレンタサイクルの貸し出しを実施	H18年度実施	事例Ａ
6	海洋博公園花火大会における情報提供による交通分散社会実験	H17年度では名護市～海洋博公園までのP&BR社会実験を実施	携帯電話サイトを利用した所要時間の情報提供	H18年度実施	事例Ｂ
7	路上工事抑制カレンダー	H17年度よりカレンダー方式を導入中	イベント時での路上工事実施の抑制	H18年度実施	
8	保良上地線	事業中	2車線新設整備	H23年度供用予定	
9	「とるば」の推進	撮影ポイントや駐車場を探すための迷走・脇見運転の発生	HPでのとるばの募集	H18年度実施	事例Ｃ
10	わかりやすい道路案内標識の構築	観光地周辺での迷走車両の発生	観光施設周辺の案内標識の充実	H18年度実施	事例Ｄ

事例Ａ　恩納村レンタサイクル社会実験

地域の魅力向上による、観光客の利用者満足度の増加

⇒自転車利用による地域の魅力向上を図るために、夏期および秋期において恩納村レンタサイクル社会実験を実施しました。

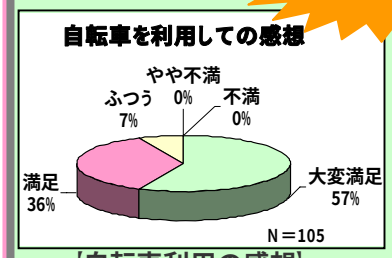
【レンタサイクル社会実験実施概要】

夏期社会実験	◆日時：８月２５日（火）～９月１４日（木） ◆効果：参加者の９割がレンタサイクルに満足、また継続を希望
秋期社会実験	◆日時：１１月１４日（火）～１２月４日（月） ◆夏期レンタサイクルとの変更点 ①利用者数が少なかった貸し出し場所を変更 ②料金を時間制に変更 ③プレゼントにクーポン券を追加 ◆効果：県内からの観光客も約６割と多く、夏期と同様に参加者の９割がレンタサイクルに満足

【レンタサイクル案内ちらし】

【クーポン券】

利用者の９０％が「満足した」と回答



【自転車利用の感想】

【レンタサイクルで楽しむ人々】

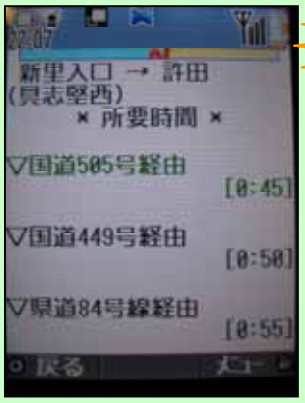
平成１８年度の取り組み事例

事例Ｂ　海洋博花火大会における情報提供による交通分散社会実験

イベント時の交通一極集中が原因で発生する道路の渋滞を緩和

⇒花火大会終了後の海洋博公園から許田までの路線別の所要時間を携帯電話サイトにて公開し、利用者の適切な経路選択を促しました。また、４箇所の交差点で、標識車や電光掲示板を利用した情報提供も行いました。

⇒花火大会に行った人々の多くがこの情報を利用し、効果的な交通分散によって渋滞が軽減されたという成果がみられました。



【携帯電話のサイト画面】

利用者の適切な経路選択に貢献しました

【道路情報板による情報提供】

事例Ｃ　「とるぱ」募集の実施

ホームページで「とるぱ」を募集し、沖縄の魅力向上に寄与

⇒ホームページでの募集や「とるぱ撮影会」の実施により多数の「とるぱ」を発信することができました。

【とるぱの説明】

【とるぱの例】

【とるぱ撮影会の実施】

事例Ｄ

観光施設周辺の案内標識を充実

⇒初めて訪れる観光客にもわかりやすく、低コストな案内標識を整備しました。

【低コストでわかりやすい観光地案内標識】

平成１９年度の取り組み

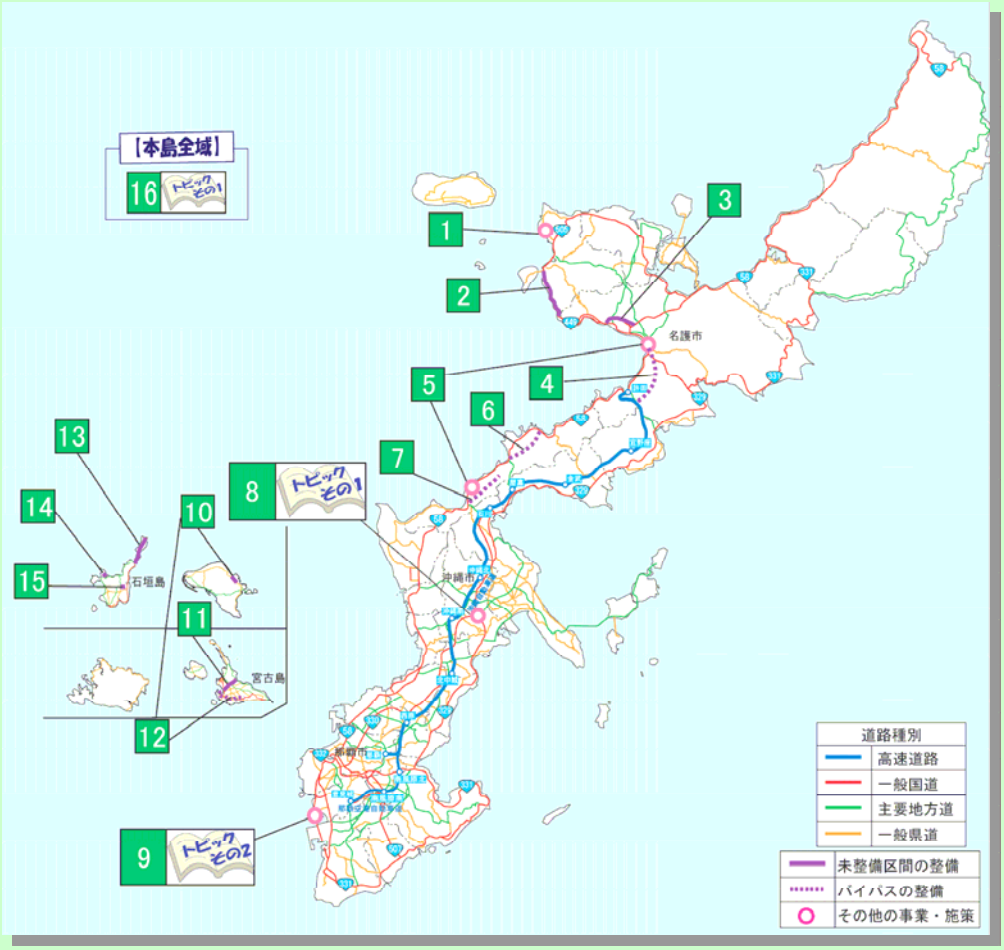
■平成１９年度目標

目標

・観光地までの所要時間を短縮させる
・観光支援に資する魅力ある取り組みを充実、構築する

【平成１９年度に実施予定の主な事業・施策】

No.	トピックス	事業・施策の名称	完了予定年度	対策内容	期待される効果
1		海洋博公園花火大会におけるP&BR社会実験	H19年度実施	名護市内～海洋博公園間のP＆BRを実施	海洋博記念公園へのアクセス向上
2		国道449号本部南道路	H21年度供用	未整備区間の4車線拡幅整備	海洋博記念公園へのアクセス向上
3		国道449号名護バイパス	H19年度供用	未整備区間の4車線拡幅整備	海洋博記念公園へのアクセス向上
4		名護東道路	H20年代前半部分暫定供用	名護市大北-数久田間に2車線道路を整備	名護以北の主要観光地から空港までの所要時間短縮
5		恩納村、名護市レンタサイクル社会実験	H19年度実施	恩納村、名護市にてレンタサイクルの貸し出しを実施	恩納村や名護市内でのアクセス向上
6		恩納バイパス	H22年度全線暫定供用	恩納村瀬良垣-南恩納間に2車線道路を整備	空港～恩納村周辺観光地への所要時間短縮
7		恩納南バイパス	H21年度部分暫定供用	恩納村谷茶-仲泊間に2車線道路を整備	空港～恩納村周辺観光地への所要時間短縮
8	その1	胡屋交差点のスクランブル交差点	H19年度完了	沖縄市「中の町ミュージックタウン」オープン予定にあわせ、スクランブル交差点化の実施	地域振興、活性化
9	その2	道の駅「豊崎」の整備を促進	H19年度実施	レンタカー利用者へ情報提供できるレンタカーステーション併設型「道の駅」	迷走車両の削減
10		久米島一周線(真謝～下阿嘉)	H24年度供用	未整備区間の2車線拡幅整備	久米島空港へのアクセス向上
11		高野西里線	H21年度供用	未整備区間の2車線拡幅整備	宮古空港へのアクセス向上
12		保良上地線	H21年度供用	2車線新設整備	主要観光地(東平安名崎)と宮古空港のアクセス向上
13		平野伊原間線	H20年度供用	未整備区間の2車線拡幅整備	石垣空港・石垣港へのアクセス向上
14		川平高屋線	H22年度供用	2車線新設整備	主要観光地(川平湾)へのアクセス向上
15		大浜富野線	H21年度供用	2車線新設整備	石垣空港・石垣港へのアクセス向上
16	その3	沖縄地方風景街道の推進	H19年度実施	HPでの沖縄地方風景街道の登録募集	地域振興・活性化



【平成19年度事業箇所位置】

平成１９年度の取り組み

トピックその1　胡屋交差点のスクランブル交差点化

都市の再開発事業と道路の都市再生プロジェクトが一体となった新たなまちづくりを推進

⇒平成１９年７月２７日にオープンした「コザミュージックタウン」にあわせて胡屋交差点をスクランブル化し、ミュージックタウンと連携して、近年空洞化が進んでいる胡屋交差点付近の市街地の活性化に貢献します。

⇒改良前の胡屋交差点はバリアフリー構造になっておらず、お年寄りや身障者の方、自転車で通行する人々にとって利用しづらい状況にありましたが、スクランブル化に伴い、これらの問題点の解決を図り、誰にとっても使いやすい道づくりを目指します。

【改良前の胡屋交差点】

ミュージックタウン

スクランブル交差点

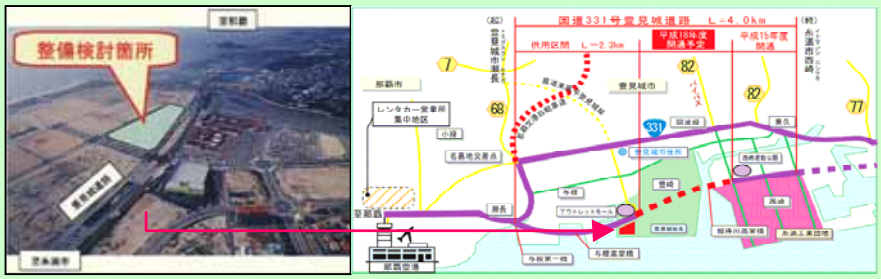
【改良後の胡屋交差点】

トピックその2　観光情報・道路情報を提供する観光拠点の整備

レンタカーステーション複合型「道の駅」の整備を実施

⇒レンタカー利用者へ観光情報や道路情報を提供できるレンタカーステーション併設型道の駅「（仮称）ちゃんぷるー型道の駅豊崎」整備を実施します。

⇒「（仮称）ちゃんぷるー型道の駅豊崎」は、休憩・情報提供施設はもとより、「観光拠点」「防災機能」など、様々な機能をもった施設です。



【「（仮称）ちゃんぷるー型道の駅豊崎」検討箇所】

【整備イメージ図】

トピックその3　ホームページでの沖縄地方風景街道の登録募集

地域活性化を目的とした沖縄地方風景街道の推進

⇒沖縄地方風景街道は、自然・歴史・文化・風景などをテーマとして、「訪れる人」と「迎える地域」の豊かな交流による地域コミュニティーの再生を目指した美しい街道空間の形成を目的としており、ホームページにて風景街道の登録を募集しています。

【沖縄地方風景街道のホームページ】